

戦後改革期に教科書会社から刊行された教育雑誌(9)

— 実業教科書株式会社の『高校教育』誌 (Ⅱ) —

丸 山 剛 史
尾 高 進

Journal Published by Textbook Publisher
under Educational Reform after World War II (9)

MARUYAMA Tsuyoshi, ODAKA Susumu

本報は、前報までに続き、戦後改革期に実業教科書株式会社から刊行された教育雑誌『高校教育』に関して検討しようとするものである¹。なお、目次集については、紙幅の関係により、第6巻(1954年)から第8巻(56年)までを収録した。

前報で述べたように、『高校教育』誌は、1949年7月、『商工教育資料』を改題した雑誌として刊行され始めた。同誌第3巻第7号所収の編集部「『高校教育』発刊第二年を迎えて」では、発刊当時の状況が次のように記されている²。

「…本誌が始めて世に出たのは、高校が実施されてようやく一年を閲し、単位制・総合高校・職業課程・教育課程・選択制度・特別教育課程・ワークショップ・男女共学・ガイダンス・定時制課程等々々、耳なれない名称と不明確な概念の氾濫に、全国の高校は挙げて混乱のさ中にある時であった。しかも、世の教育ジャーナリズムと流行教育学者は徒に販売部数を追うて小・中学校に蝟集し、新学校制度の扇の要ともいふべき高校教育の研究に力を致すの明を欠いていた。この時、われわれは江湖の要請に应えて、『高校教育』第一巻を世に贈ったのであったが、幸いにして全国高校関係者諸賢の熱烈な支援を受け、今や本邦唯一の

¹ 丸山剛史・尾高進「戦後改革期に教科書会社から刊行された教育雑誌(8) — 実業教科書株式会社の『高校教育』誌(Ⅰ) —」『工学院大学共通課程論叢』第48巻第1号、2010年、107-116ページ。

² 編集部「『高校教育』発刊第二年を迎えて」『高校教育』第3巻第7号、1950年、1ページ。

高等学校雑誌として、全国津々浦々の高等学校に備えられるに至った。われわれとして益々その責務の大きさを感ぜざるを得ない。…」

「本邦唯一の高等学校雑誌」であったか否かは定かでないけれども、『現代教育史事典』（久保義三・他編、東京書籍、2001年）所収「主要教育雑誌一覧」をみる限りでは、数少ない高等学校教育専門誌であったとみられる。

そして、上記のような高等学校教育の「混乱」を少しでも緩和しようとしたためであろうか、当初は文部省関係者の解説記事等が掲載されている。ここでは、特に第2巻第1号（1949年7月）から第3巻第9号（1950年9月）まで掲載されていた「質問室」を紹介しておきたい。「質問室」は、読者からの質問に「文部省初等中等教育局中等教育課の大照完先生を中心に中等教育課の先生およびその専門家の方々」が回答するという誌上質疑応答欄であり、上記の期間、ほぼ毎号に掲載されている。以下では、その一例を紹介しておく³。

「問 二十四年度から従来の学科を廃して職業課程を置くように『高等学校教科課程の解説』で示されておりますが、学校教育法及び同施行規則ならびに高等学校設置基準に示されている学科はまだ正式に改められておりません。職業課程の法的基礎について説明してください。

答 お説の通りです。もともと職業課程は目下文部省で準備中の学校基準法で定められるのですが、この法案が予定に反して前国会に提出することができませんでしたので、お説のような矛盾が生じたのです。しかし右の間に列挙された法律および省令には学科の内容は規定されておらず、学校教育法施行規則には高等学校の教科に関する事項は学習指導要領の基準によるとあります。そして『高等学校教科課程の解説』は学習指導要領の補遺になっておりますので、それらの事情から、学校基準法の施行されるまでの便法として、文部省では次のような解釈をしています。すなわち、学科の内容を学習指導要領によって教科の面から規定することは合法的である。故に、法規上では従来の学科はまだ廃止されていないが、その内容が職業課程として示されたものの通りに改められたとする。したがって、法規的にいえば、学校基準法が施行されるまでは、正式の名称は学科であるが、その内容は新しく示された職業課程の内容によるべきものである。そして学校基準法が施行された時に名称も職業課程と改められる。というのです。」

これは、6つの質問のうちの1つであり、これ以外にも多数の質疑応答が掲載されている。『文部時報』等に掲載された関係職員の解説文にも記されていない内容が含まれているように思われ、戦後の教育課程史を検討していく際、興味深い記事の1つであると思われる。

³ 「質問室」『高校教育』第2巻第7号、1949年8月、47-48ページ。なお、上記の学科—課程問題については、佐々木亨『日本の教育課題8 普通教育と職業教育』（東京法令、1995年、253-256ページ）を参照されたい。

資料. 『高校教育』 誌目次集 (1954 - 1956年)

- ・本目次集を作成するにあたっては、編者が所蔵機関に出向き現資料を確認した。
- ・所蔵機関名を巻号・発行年月右横のカッコ内に記した。
- ・執筆者名右横のカッコ内の数字はページ数を表す。

第6巻第1号：1954年1月1日

(広島大学附属図書館・中央)

比較文学問答	島田謹二 (9)
教科書の挿絵に生きている「女大学」	扇谷修 (14)
科学と迷信	白井俊明 (12)
「貧窮問答の歌」をめぐる	池田勉 (17)
座談会 高校教育これまで・これから	
(石川好郎・佐藤秀三郎・桜井茂樹・真田幸男・朝日稔・吉田悟郎・井上亀三・中井康二)	(1)
(高校評判記) 岡山市高校巡り	(30)
《鶏肋言》健忘症の民族	山紫楼 (16)
もとなるもの	大政正雄 (20)
農家に嫁ぎながらの高校生	西山民雄 (21)
農山漁村定時制高校の数学教育	木村初男 (22)
沢庵漬	小紫敬三 (23)
津波	下谷徳之助 (24)
商業課程の国語教育	藤井了諦 (25)
生徒心理をつかんだもの学習指導	仁木繁 (26)
近頃目につくもの	鈴木富美 (27)
◎教科書談義◎	水谷三郎 (28)
まんが	あまからクラブ同人 (31)
ユーモア集・孝行教育・教育用語の新解釈募集	
教育ニュース	(32)
編集後記	(32)

第6巻第2号：1954年2月1日

(広島大学附属図書館・中央)

巻頭言 平和と経済	(1)
入試特集	
入試問題の作成と答案調べ	安藤常次郎 (2)
座談会 高校への感謝と希望	
(出席者) お茶の水女子大生・東大生・一橋大生・横浜国大生	(4)
・・写真考現学・・高校生に入試迫る	(10)
はてしなき行脚	横田弘之 (16)
社会科改訂と批判精神	田坂寧邦 (17)
高校生の詩のあり方について	山本博繁 (18)
選択制に罪あり	藤本利治 (19)
我が生涯における最悪の年	相原寅松 (20)
発明報国	井上昌久 (21)
農業教育不振の諸因	小島勲 (22)
私の描く生徒の人間像	佐野計 (23)
国語教育雑感	金子武雄 (23)

生物教育40年	槌賀安平 (14)
商業経済科の内容 (商業科教授資料)	

	久保村隆祐 (26)
教科書談義	水谷三郎 (24)
《高校評判記》東京都立農林高等学校の巻	(29)
進学適性検査全国成績概況	(30)
まんが・六さん 牧とらを	
ユーモア集・孝行教育	(31)
教育ニュース・編集後記	(32)

第6巻第3号：1954年3月1日

(広島大学附属図書館・中央)

最近の大学入試について	荒木直 (7)
引く力と押す力	佐々木喬 (10)
就職シーズン特集	
《座談会》職業課程から実社会へ	(1)
出席者・今春卒業商業高校生男子6名・女子4名	
水産高校の卒業生に就職難なし	石原鱒児 (17)
まんが 6さん 就職の巻	牧とらお (31)
理科は必修に	丸山巻男 (12)
新教育の危機はここにある	松本茂三 (13)
教育とはひっぱり出すこと	油井猛治 (15)
童心を傷ける旧道徳と戦争	大河原務 (17)
いろはかるた	馬淵一夫 (20)
東大数学科主任教授 福原満洲雄博士の横顔	(23)
商業科教授資料 商品の種類・取引所の利用	

久保村隆祐 (26)
教科書 文書事務 (実教出版) 修正についてのお願い
(30)

教科書談義	水谷三郎 (24)
(高校評判記) 岡山県立津山高校	いわもと生 (29)
質疑応答 高等学校設置基準の解釈について	
解答 文部省中等教育局石川事務官	(22)
統計の利用	西出一郎 (19)
国宝と重要文化財	(14)
市町村の数	(20)
教育ニュース・編集後記	(32)

第6巻第4号：1954年4月1日

(広島大学附属図書館・中央)

高校の理科教育	莊司寛 (6)
解釈作業についての課題	田中準 (8)
高校の外国語科と規定の改正	石坂忠之 (10)

教育二法案と教組・教職員の在り方

大勢順応か？ 抵抗戦の強化か！

座談会 高教組役員・高校長・男教員・女教員・
女教員・本社編集部HおよびS (1)

学ぶ自由・教える自由を守る

参院文部委員・自由党 坂田道太 (5)
研究 段丘地域の利用 須藤万治 (22)
商業科教授資料 独占禁止法・海運同盟久保村隆祐 (27)
教科書批判 商業科教科書「統計」 青盛和雄 (30)
一教師の本棚より 草間二郎 (12)
定時制高校の在学年限 倉橋実 (13)
社会科と法律知識 河西伸博 (14)
高校生の詩の方向 小川和佑 (16)
中国教科書の教えるもの 扇谷修 (17)
映画「エヴェレスト征服」 岡部長章 (19)
学校図書館 四柳嘉穂 (21)
教科書談義 水谷三郎 (24)
《高校めぐり》神奈川県立愛甲農業高校 K. I. (26)
教育ニュース・編集後記 (32)

第6巻第5号：1954年6月1日

(広島大学附属図書館・中央)

特集 雑務に追われる先生達 (10)
隣家の麦飯はうまそうに見える Q記者 (10)
雑務に追われる三人の先生とQ記者の座談会 (11)
▼夜もおちおち寝られない 鈴木菊雄 (13)
▼雑務に明け雑務に暮れる 津守亮 (15)
物の見方・考え方 上原専禄 (2)
高校評判記 札幌北高校 KI生 (38)
商業科教授資料 特殊金融機関 久保村隆祐 (40)
生徒から贈られたマドロスパイプ 野中為次 (18)
定時制卒業生をおくることば 上田俊雄 (20)
日本の社会科、米国の社会科 川島清吉 (21)
教育効果 上滝元 (23)
高校教育の一年 後藤三郎 (25)
「実践理科」の提唱 渡辺久男 (26)
使う為の化学 諏訪幸男 (28)
私の受けた文法教育 鈴木富美 (30)
涯なき不毛の丘 海野善雄 (31)
薬製品と方言 卯木文敬 (33)
青年の気魂と高校の使命 室谷幸 (34)
反時代的考察 西山民雄 (35)
教科書談義 水谷三郎 (44)
質疑応答 普通高校の職業課程の単位
(解答) 文部省石川事務官 (46)
編集後記 (48)

第6巻第6号：1954年7月1日

(広島大学附属図書館・中央)

産業教育上の「実習」としての模擬商業実践
糸魚川祐三郎 (9)
ぜいたく品の取引から必需品の取引へ
眼で見る取引から頭で理解する取引へ
深見義一 (17)
英語講読二十年 池田義一郎 (13)
老化学教師の近辺のできごと 井上敏 (12)
英文商業通信のあり方 光井武八郎 (19)
高校日本史編者のことば 西岡虎之助 (16)
商品の一つの見方 谷山整三 (20)
座談会 家庭科は生きている
高校家庭科担任教諭／日本女子家庭科研究会 (2)
高校教師の一日 武藤徹 (22)
雌鶏と家鴨の子 小島勲 (23)
《高校評判記》愛知県立名古屋西高校 TN生 (26)
新旧芸術観 (11)
教科書談義 水谷三郎 (24)
(実教出版発行) 高校普通科教科書総目録 (27)
(実教出版発行) 商業科教科書総目録 (28)
(実教出版発行) 工業科教科書総目録 (29)
(実教出版発行) 農業・水産科教科書総目録 (30)
(実教出版発行) 中学校用教科書総目録 (31)
編集後記 (32)

第6巻第7号：1954年8月1日

(広島大学附属図書館・中央)

ある診断テストについて 鈴木七緒 (13)
家庭科よ、濁流に流さるるな 森邦子 (8)
大学入試と高校教育 郷土和夫 (10)
脚光を浴びた中国古代文化 小宮進 (2)
――先史考古学と地質時代―― (4)
<高校評判記>
岩手県立盛岡第一高等学校 (12)
〃 第二高等学校 (22)
高松市立第一高等学校 (18)
インドシナ戦争の背景 北野道彦 (5)
時事用語 FOA (10)
愛知用水 (11)
パナナの世界産額 (9)
ルポルタージュ
高校生言葉づかい風景 西野信朗 (16)
ある女子高校教師の日記 野村辰雄 (17)
Y紙の教科書採点問題
教科書談義 水谷三郎 (20)
無謀な教科書採点 (19)
余りにも大胆な紹介 (19)
教授参考資料

数学科 (幾何)	(23)
社会科 (宮原誠一編「一般社会」)	(26)
書評	(31)
教育ニュース	(32)
編集後記	(32)

第6巻第8号：1954年9月1日

(広島大学附属図書館・中央)

風通しのいい話 (英語英文学漫談) 石田幸太郎	(4)
定時制課程における職業科目の在り方 山崎寿吉	(6)
職業指導に関する一章 糸一郎	(21)
学習指導上における制度的困難の分析 高野忠二	(8)
簿記教科書に対する現場教官の意見について著者よりの感想 沼田嘉穂	(11)
クモの糸 油井猛治	(2)
世話のしがいのある高校ホーム・ルーム 重信一義	(18)

《高校評判記》

石川県立小松高校 いわもと生	(10)
青森市立中央高校 岩谷生	(20)
誰か夢なき 茂木保定	(14)
一足の長靴を 西山民雄	(15)
平行線 青木要	(15)
南紀の旅 小松沢正徳	(16)
人に涙みとって貰えぬ苦勞 及川量進	(17)
高校の選抜試験において履修せざる選択教科を受験者に強制するな (公立高校入学志願者選抜方法の要領)	(31)
高校教育課程改正の動き (教育ニュース)	(32)
教科書談義 水谷三郎	(22)
わが国における商業教育の沿革	(13)
商業科教授資料 国際収支統計の見方	(25)
街で拾った高校生生の生態	(24)
教科書評	(30)
教育ニュース	(32)
編集後記	(32)

第6巻第9号：1954年10月1日

(広島大学附属図書館・中央)

採用試験委員の希望 上西実	(18)
役だつ家庭科を 向山リツ子	(4)
幾何学の歴史 武藤徹	(8)
添うてみずとも、乗ってみずとも (数学科教科書採択私見) 川口亀夫	(19)
高校生の英雄観 村井三吉	(2)
非予備校的新カリキュラムの編成 川畑安雄	(10)
高校生活と酒の味 日野培樹	(11)
仕入れでない話 立川仲夫	(12)

鎖夏遊歴 明石総一	(14)
鯨波臨海学校 須藤万治	(15)
山村の封建遺制 唐木健作	(16)
鶏肋 政治と国民 山紫楼	(7)
期間損益計算 江木協三	(20)
〔研究〕町村合併と集落の変貌 筑波稔	(22)

《高校評判記》

高知県立高知小津高校	(24)
東京都立第三商業高校	(30)
社会科教授資料 昭和29年度予算の解説	(25)
教科書評	(31)
(時事用語) 外国為替銀行	(21)
教育ニュース	(32)
編集後記	(32)

第6巻第10号：1954年11月1日

(広島大学附属図書館・中央)

正規分布にあてはまるか？

鈴木七緒 (32頁→横組欄1頁)

的 (まと) と澁 (おり) 高沢益	(2)
修学旅行シーズン	
伊勢の窓から 筑波申真 (表紙2)	
修学旅行点描 (表紙4)	
観光バス	(18)
教科教育課程と経験教育課程 岡田章	(6)
鶏肋言 職業と責任 山紫楼	(5)
産業教育七十周年を迎えて 横田弘之	(19)
税金につられて簿記普及 宗像康夫	(8)
農村の教師 栗原武夫	(10)
男女共学問答 勝野勲	(11)
雑学の徒 保曾木栄三	(12)
定時制生徒の進学 藤本正三郎	(13)
高校、予備校化す トクナガミツオ	(15)
日本人口の定員 後藤照司	(16)
《高校評判記》秋田県立大館鳳鳴高校 うはら生	(20)
高校の新教育課程	(21)
教員免許法施行規則等改正要項	(24)
教科書評	(27)
珠算および商業計算指導書正誤表	(26)
教育ニュース	(28)
編集後記	(28)

第6巻第11号：1954年12月1日

(広島大学附属図書館・中央)

高校教育課程改善の要点 杉江清	(9)
一般社会・時事問題の統合を 教師はどう考えるか 新居田毅夫	(10)
新学習指導要領数学Ⅰ解説 実教編修部「数学の教室」編修係	

	(横組欄1頁)	第7巻第2号: 1955年2月1日	
原著論文の生物科教材としての価値について		(広島大学附属図書館・中央)	
金子哲郎 (13)	特集 高校理科改訂要綱	横組欄1頁 (40)	
国語教育における時代相の把握 井上佐治郎 (12)	東洋の知恵	野沢豊 (2)	
座談会 自己展開学習《五人の教師の歴史教育》	慰めてもらう娯楽と楽しむ娯楽 娯楽の問題点		
羽生敦・清水勝太郎・大谷浩三・		寺門康伸 (4)	
風間泰男・菱刈隆永 (2)	《鶏肋言》いばる	山紫楼 (7)	
鶏肋言「原理的精神」 山紫楼 (8)	ある日本の性格	大野蛭二 (8)	
会津特産・飯へらの実態調査 辻正雄 (24)	思い出の授業	大島英二 (9)	
〔高校評判記〕広島県立尾道商業高校 いわもと (23)	日本一の高校分校	笠松芙蓉 (10)	
軽視される実科 佐野計 (16)	初歩の機械学	高橋良助 (12)	
文化祭—新教育の一断面 会津凡兄 (17)	成人の日を迎えたわが子に与う	原浩之 (14)	
のどじまん 山田千之 (18)	牛逃亡記	松元十九 (15)	
Y子の幻滅 室谷幸 (19)	実力不十分といわれるものについて	桑島端 (22)	
今夜もまた当直室 鶴岡勝治 (20)	☆高校生の性教育☆		
居は氣を移す 小柴敬三 (21)	読書指導について	石垣純二 (18)	
《まんが》教育界1954年トピックス (22)	第一回商工会議所簿記検定試験結果	(20)	
書評 (26)	◎ある高校の世論調査	前田寿男 (6)	
教育ニュース (27)	教科書談義	水谷三郎 (16)	
編集後記 (27)	(質疑応答) 農林金融機関および相互銀行について	(20)	
第7巻第1号: 1955年1月1日	教科書評	石川裕 (25)	
(広島大学附属図書館・中央)	教育ニュース (三十年度数学教育全国大会ほか)	(26)	
文学の研究ということ 西島正 (12)	投句	山本利左エ門 (14)	
更に広く一般に意見を求めよ	編集後記	(26)	
— 高校教育課程の改訂にあたって —			
布川正吉 (8)	第7巻第3号: 1955年3月1日		
生徒はなぜ物理を選択しないか 内村太郎 (10)	(広島大学附属図書館・中央)		
座談会 商業教育発展のために	大学入試問題について	村上洋 (8)	
今村直人・深見義一・渡辺輝一・井上亀三 (2)	人間像育成の契機としての数学教育	池田昌夫 (10)	
新春特別寄稿	歴史教育への路	上原専祿 (2)	
高校卒業者の青年団 宮原誠一 (14)	理科教育における科学史の扱い	葦葉一雄 (13)	
存在と単独性について 福原満洲雄 (15)	簿記教育における導入法	松本正信 (29)	
文化パス 菅義夫 (16)	史料探訪	安彦勘吾 (14)	
陰鬱ならざる経済学 久武雅夫 (17)	高校生の短歌について	中村敏夫 (15)	
わが師 井上清恒 (18)	お師匠さんは芸事の社会にばかり居るのではない	高木和己 (17)	
国語学習と若い世代 金子武雄 (19)	日向葵の女	工清定 (18)	
山の旅 湯浅明 (20)	謝恩会	武井時紀 (20)	
底力のある次の時代の人たち 白井俊明 (21)	「インテリ」	渡辺捷八郎 (21)	
教師のために・高校生の性教育 石垣純二 (28)	教科書談義	水谷三郎 (22)	
鶏肋言・落ち穂一二 山紫楼 (14)	《鶏肋言》筋を通す	山紫楼 (27)	
ある数学教師のお説教 折井一 (22)	高校生の性教育・交友関係について	石垣純二 (24)	
道德教育について 渡辺博 (23)	教科書評 (糸魚川祐三郎編)「商業実践」	(31)	
生徒の就職に適正なる措置を望む 伊藤祐博 (24)	《俳句》採点風景	島弓人 (16)	
もう一つの導水路 和田忠正 (25)	教育ニュース	(32)	
教科書談義 水谷三郎 (26)	編集後記	(32)	
大学入学者選考に関する中教審答申 (30)			
教育ニュース (32)			
編集後記 (32)			

第7巻第4号：1955年4月1日

(広島大学附属図書館・中央)

- 定時制課程の矛盾への抵抗 山崎寿吉 (10)
 新しい生物について 湯浅明 (22)
 《鶏肋言》銭を拾う子供たち 山紫楼 (5)
 数学教師一か年の経験 芝田隆雄 (12)
 機屋の一人娘 一倉喜好 (13)
 真剣な定時制生徒 卯木文敬 (14)
 歩くということ 上滝元 (15)
 文学放言 青木要 (18)
 協同評価訪問委員の日記 大中一郎 (19)
 それ自身価値ある教育を 柴幽香里 (2)
 他山の石 (歴史の自己展開学習を参観して)
 筑紫申真 (6)
 私たちの経験もまだ不足です (筑紫先生へ)
 羽生敦 (8)

- 教科書談義 教科書の数の問題・指導要領のない教科書も・発行人の数の分析・教科書代と教育費
 水谷三郎 (26)
 《教科書評》深見義一編・通論商業経済 XYZ (29)
 高校生の性教育・同性愛について 石垣純二 (30)
 教育ニュース (32)
 編集後記 (32)
 附録 昭和31年度教科書目録 (実教) (33)
 31年度新検定教科書内容紹介 国語 (裏表紙の裏)、英語 (〃)、歴史 (9頁)、数学 (20頁)、理科 (21頁)、家庭科 (25頁)、商業科 (表紙裏)、農業科 (28頁)、工業科 (28頁)、中学校用 (24頁)

第7巻第5号：1955年5月1日

(広島大学附属図書館・中央)

- 幾何教科書編修に際しての一所感 斎藤利弥・所沢久雄 (18)
 新規定による高校の第二語学 石坂忠之 (4)
 総合高校の農業課程入学者は第一志望者の者のみに止めよ 小島勲 (8)
 進歩賞の制定 島田信基 (12)
 蜚 坂田道太 (13)
 一般社会本質論 池田義雄 (14)
 はくじん生活 稲田伊之助 (15)
 当世高校生気質 由井啓二 (16)
 S君への手紙 西山民雄 (17)
 日本経済の苦悶 横田弘之 (2)
 理科の視聴覚教育の新しい視野について 荘司寛 (20)
 教師について 長嶋恒義 (10)
 切り込んでくる——「通論商業経済」の授業から 大石忠良 (27)

- 教科書談義 水谷三郎 (22)
 高校生の性教育・男女交際の常識 石垣純二 (24)
 《教科書評》古川栄一編「経営」 XYZ (29)
 教育ニュース (32)
 編集後記 (32)
 昭和31年度高等学校／中学校教科書目録
 [31年度新編修教科書の内容紹介]
 高校用 国語 (6)／英語 (9)／世界史 (11)／家庭科 (28)／数学 (表紙裏)／物理 (裏表紙裏)／化学 (裏表紙裏)／生物 (裏表紙裏)／商業科 (26)／農業科 (31)／工業科 (31)／中学校用 数学 (30)／職業家庭 (30)

第7巻第6号：1955年6月1日

(広島大学附属図書館・中央)

- 国語教育の変遷と特色 高野忠二 (20)
 ◎高等学校における水産教育の課題 山根敏明 (22)
 都市地域高校生の職業観 小塚三郎 (6)
 目の醒めたらむ程 横田英男 (10)
 高野長英の逮捕状 斎藤勲 (11)
 上足と下足 出沢万紀人 (13)
 理想的人間像 重信一義 (14)
 やまがはずれる 野中為次 (16)
 高校生作文教育 渡辺守順 (18)
 鶏の知能 川島清吉 (19)
 道徳教育における Agape 的立場について 油井猛治 (2)

ある選抜試験の結果からみた高校生の学力

- 前田忠雄 (4)
 《鶏肋言》英国の総選挙 山紫楼 (9)
 教科書談義 水谷三郎 (26)
 逆ピラミッド型の構成 (Bright English を読んで) 島田昇平 (24)
 《高校生の性教育》性教育の目的 石垣純二 (28)
 教育ニュース (32)
 編集後記 (32)
 附録 教科書目録 (横組1～16)
 31年度新検定教科書の編修要点 (30～31)

第7巻第7号：1955年7月1日

(広島大学附属図書館・中央)

- 高校社会科の改訂について 「新科目」の問題点を中心に 間瀬正次 (2)
 現行教科課程の実施に伴い生ずる困難について 須藤万治 (6)
 教科書評 沼田嘉穂教授 工業簿記 松本正徳 (29)
 「金印」は倭奴国王の私印 岡部長章 (8)
 卒業した子供たち 鈴木富美 (10)
 黙って殴る 茂木保定 (12)

教師はいつもスタートラインに立っている

	栗原武夫 (13)
土帰月来日記断簡	香川陽平 (14)
英語が嫌いになった女生徒の話から	武石四郎 (15)
信長の家臣	倉橋実 (17)
アルコールに関する十二章	桑野千代 (18)
山村のたしなみ教育	森永峯男 (21)
《鶏肋言》短大と高校	山紫桜 (5)
SpeakingとHearing BRIGHT ENGLISHを読んで	島田昇平 (26)
理科教育と科学史の扱い 原子力問題の場合	葦葉一雄 (24)
教科書談義	水谷三郎 (22)
教育ニュース	(32)
編集後記	(32)

第7巻第8号：1955年8月1日

(広島大学附属図書館・中央)

座談会 高校社会科の改訂と新科目の動向	
出席者・高校教員12名 司会 間瀬正次	(2)
英文法とRecitation BRIGHT ENGLISHを読んで	島田昇平 (26)

特集・教科書展示会参観記

青年期の心理にええよ	相原寅松 (10)
受け入れられた批判	川口亀夫 (11)
明年も待たるる	前田忠雄 (11)
年々の改訂こそ本領	明石総一 (13)
嵐の中の展示会	本田康夫 (14)
展示会を見ざる記	小林猛夫 (15)
歴史教科書に対する希望	村上洋 (16)
ビニール表紙の近代的感じ	宗像康夫 (16)
自分を納得させる為に	福井照重 (18)
教科単元への復帰	丸山巻男 (18)
《鶏肋言》外交の貧困	山紫桜 (9)
教科書評 西岡虎之助編 高校日本史 筑紫中真	(30)
《高校評判記》県立青森高校	岩谷喜代次 (28)
江戸と川柳	新井益太郎 (24)
戦艦武蔵と「烏」	及川量進 (22)
教科書談義	水谷三郎 (20)
《書評》	(31)
教育ニュース	(32)
編集後記	(32)

ママ
第7巻第8号(9号の誤り)：1955年9月1日

(広島大学附属図書館・中央、東京学芸大学附属図書館)	
ルポルタージュ 東日本教育研究会商業部会	
札幌市における酷暑下の商業部会	横田弘之 (18)
商業経済的科目の内容	福井照重 (19)
分校定時制の一部は全日制にせよ	藤鷹為明 (6)

地域社会の中心人物育成を期待

<藤鷹先生の意見に対して>	SR生 (8)
長文と短文	田中準 (2)
《鶏肋言》新語流行語	山紫桜 (9)
改訂 高校職業課程要綱	(26)
職業学校における基礎教育について	松浦幸信 (4)
営業圏と合併差益	細木英二 (24)
教科書を書くのはむづかしいか	加藤俊次郎 (10)
水軍の改良	高橋良助 (12)
法律だけでは防げない	小林毅 (14)
民謡秋田	山田千之 (15)
私は丸刈り派(高校生の頭髪について)	二橋次男 (16)
アメリカ式とドイツ式と	盛口婦美 (17)
<高校評判記>福井県立勝山精華高校	(25)
教科書談義	水谷三郎 (23)
教科書評	

上原専禄 高校世界史	前田寿男 (38)
珠算および商業計算	中村敏夫 (39)
教育ニュース	(40)
編集後記	(40)
付録 高校社会科改訂要綱	

第7巻第10号：1955年10月1日

(広島大学附属図書館・中央)

昼間定時制問題がまきおこした波紋	(8)
定時制の進むべき道	宮村堅弥 (8)
定時制教育不振の根本問題はどこにあるか	加藤和夫 (10)
教育の成功と見たい	須藤万治 (12)
普通高校における商業教育	深見義一 (2)
化学界の現状と高等学校の化学教育	白井俊明 (4)
理工科志望に対する数学教育	牧野不二雄 (6)
瓜二つの英語的表現< as like as two peas >	岩瀬恭一 (16)
海外諸国の総合開発	品田毅 (14)
理科教育における科学史の扱い	
光と音の場合	葦葉一雄 (31)
ラジオを聴くいなかの高校生	三井勝美 (18)
日本教育放送局・えとせとら	池本洋一 (19)
関西修学旅行記	一倉喜好 (20)
野球の便り	山口利助 (22)
教科書は教材という立場から	藤井真斎 (23)
親馬鹿さまざま	上滝元 (24)
教科書談義	水谷三郎 (26)
<教科書評>太田哲三 新会計学	松本正信 (28)
<書評>世界の子供 中国・朝鮮編	(30)
教育ニュース	(32)
編集後記	(32)

第7巻第11号：1955年11月1日

(広島大学附属図書館・中央)

作文教育は道德教育に通ずるということ

— 作文指導の実践報告 — 久米常民 (24)

座談会 商業課程の改訂に当って

出席者 深見義一・久保村隆祐・福井照重

小田光治・小原実・小堺富美蔵・若林省三

司 会 井上本社編修部長 (2)

工業教育の一端 風見和泉 (11)

機械工作教科における単元併行指導 宮本勝美 (10)

パスカルの慰戯 油井猛治 (14)

アメリカの大学便り 湯浅明 (15)

佐渡の思い出 鈴木富美 (17)

昆虫と迷信 国沖森治 (18)

学園余録 田島善弘 (20)

次代への期待 小島勲 (21)

商業法規学習の目標について 石川裕 (28)

教科書談義 水谷三郎 (22)

<教科書評>近ごろの教科書について

— その総括的批評 — 勝野勲 (30)

<書評> (31)

“古い統計”について 編集室 (30)

教育ニュース (32)

編集後記 (32)

第7巻第12号：1955年12月1日

(愛知教育大学附属図書館)

精神衛生と教育作用全般との関連について

高野忠二 (2)

座談会 高等学校社会科「社会」の問題点 (6)

出席者 徳久鉄郎・武藤一良・津賀佑之・鷺見美雄

早川光鐘・中沢浩一・吉沢幸雄・佐藤勇夫

塚田哲夫・村木義雄

司 会 間瀬正次

<鶏肋言>就職難について 山紫楼 (5)

昼間定時制問題

分校定時制問題の本質的解決を考えよ

相原寅松 (16)

現実のギャップに対する科学的解決の方法が必要

前田忠雄 (18)

相手の意見を自県の事情によって判断せぬこと

福谷弘 (20)

教科書談義 水谷三郎 (30)

京の夢大坂の夢 一戸正三 (22)

数学の成績不良な生徒の父兄会で 池田昌夫 (24)

はせをの生家 奥山隆夫 (24)

刺身のつま 大野蛭二 (27)

奥会津の宋銭 斎藤輝夫 (28)

教育ニュース (32)

編集後記

(32)

第8巻第1号：1956年1月1日

(東京学芸大学附属図書館)

昭和31年を迎えての念願 MEK (4)

理科教育—現場に見る問題 藤島有平 (8)

「資源不足」の反省 小原敬士 (2)

31年度改訂版学習指導要領商業科編

(横組1～18)

解かれた絵文字 太田秀通 (6)

《鶏肋言》舌の暴力 山紫楼 (11)

高校評判記 佐賀県立鹿島高校 いわもと (10)

新春読物

家族計画AからZまで 石垣純二 (12)

叱るということ 岩淵常男 (14)

酒閑談 朝日勇宣 (16)

詩人の魂 小川和佑 (18)

理科系大学的女子学生の就職難 井上敏 (19)

思い出 渡辺正 (21)

教師の生活記録 川向正峰 (22)

生徒は先生の鏡 佐々木宏 (23)

川柳管見 茂木保定 (24)

社会科基礎的能力調査の一例から指導の難点を省察す

る 折田寅雄 (29)

教科書談義 水谷三郎 (26)

《漫画》先生のモデルノロジオ (28)

教育ニュース (32)

編集後記 (32)

第8巻第2号：1956年2月1日

(広島大学附属図書館・中央)

現場雑感 会津凡児 (2)

数学教育と生徒指導 杉本実 (4)

高校入学時の数学能力 尾崎一清 (20)

商業科教授参考資料「商品」

<実教出版>の最新統計補況 (28)

男生徒と女生徒 重信一義 (10)

試験監督 渡辺照造 (11)

暖冬 及川量進 (12)

午後の職員室 横田英男 (13)

職場開拓 沢渡忍 (15)

こわいもの 松元十丸 (16)

軍記物語の教科書性格 小塚三郎 (6)

「でたらめ」—乱数表 鈴木七緒 (24)

高校評判記 下関市立下関商業高校 山本久法 (8)

<鶏肋言>大人のエチケット 山紫楼 (9)

教科書談義 水谷三郎 (16)

書評 (23)

教育ニュース (32)

- 編集後記 (32)
- 第8巻第3号：1956年3月1日
(広島大学附属図書館・中央)
- 保護位置の経済地理 須藤万治 (20)
- 歴史の高校入試問題 中村義太郎 (22)
- 新中国を見る目——社会の変革と人間の変革——
高桑純夫 (2)
- 鶏肋言 教養について 山紫楼 (9)
- 現行教科書による商業一般学習指導計画
栃木県商業経済研究委員会 (17)
- ルポ 関東地区機械工業教育研究会発足 (28)
- 兎と亀の物語と歴史記述の型 上滝元 (10)
- 「家族計画」実践報告 JY生 (11)
- 高校生と統計グラフ 川口亀夫 (12)
- 教師の日記 島田嘉照 (14)
- カラザの撚り 仲手川明 (15)
- 共同通信がとりあげた本誌記事 編集室 (16)
- 商業科教資料「商品」
＜実教出版＞の最新統計補足 (24)
- 定時制高校生教育保護対策
＝中央青少年問題協議会の要望＝ (29)
- 教育ニュース (32)
- 編集後記 (32)
- 第8巻第4号：1956年4月1日
(広島大学附属図書館・中央)
- 異質分団学習指導におけるテスト／学習法とドリルの
必要性 古川正二 (10)
- 評定の方法 黒木義男 (6)
- 附録 教科書目録 (33)
- 簿記の学習 太田哲三 (2)
- 鶏肋言 入社試験 山紫楼 (9)
- 「戎松」仕込み 山田紫煙 (4)
- 寒天の由来 五十嵐辰市 (14)
- シャラップ 宮崎利秀 (18)
- 庶民街 四竈経夫 (20)
- 卒業列車 市村順太郎 (22)
- 漢字変化 松村勇夫 (22)
- 旧師の句評 鈴木富美 (23)
- 九十五点 高橋良助 (24)
- 夜間定時制高校生の教育費調査の一考察
松永慶典 (25)
- 教科書談義 水谷三郎 (15)
- 教育ニュース (32)
- 編集後記 (32)
- 第8巻第5号：1956年5月1日
(広島大学附属図書館・中央)
- 教科書目録 付録 (33)
- 商業科指導の観点 横田弘之 (24)
- 高校家庭科の自減を来しつつあるのはなぜであるか
高校家庭科教師 (8)
- 社会科社会と倫理教育 務台理作 (2)
- 倫理の原理とは何か／社会科社会は道德教育において
どのような意義をもつか
- 鶏肋言 賠償問題 山紫楼 (11)
- “山の神”ということ 卯本文敬 (16)
- もやしをいれねばあめはできない 石原耕治 (17)
- 今の先生 葉貫琢良 (18)
- 教師の手帳 桑原三郎 (19)
- Alexander 盛口婦美 (20)
- 僕はピンチヒッター 相栄良睦美 (21)
- 相模名物大風 清水豊 (22)
- 教頭2年生 阪部達雄 (22)
- 日曜日の断想 西山民雄 (23)
- 実践報告
私は「商業経済」をどのように教えたか
箕輪京四郎 (12)
- 文書実務に対する生徒の興味について
山口利助 (15)
- 理科の数学 杉本実 (26)
- 教科書談義 水谷三郎 (28)
- 新しい評価理論 崩れゆく5点法 莊司寛 (31)
- 社会科の教材 古い塩田・新しい塩田
牧とらを (32)
- 新商業簿記正誤表 (30)
- 編集後記 (64)
- 第8巻第6号：1956年6月1日
(広島大学附属図書館・中央)
- 教科書目録 付録 横組1～16
- 昔は貯金、今は生活をエンジョイ 有富光子 (5)
- 実務性と教養と＝都立U高校にて＝
A教諭・2Y教諭 (16)
- 生物座談会 五十人の現場の意見
奥山稔・野坂健三・野沢登 (10)
- 鶏肋言 腹芸 山紫楼 (9)
- 名門Y校で商業科のお知恵拝借 S.I生 (30)
- 座談会 数学の教科書について
平井勇・菅井秀雄・藤村博 (6)
- ある農家の書架 小塚三郎 (14)
- モモヒキの“紳士” 佐々木宏 (15)
- 社会科座談会 棹《社会科社会と人文地理の問題点》
品田毅・徳久鉄郎・栗山陽子 (2)
- くろおず・あつぷ

氏家寿子 (29) / 弘法健三 (23) /
志賀義雄 (27) / 小野義彦 (13)
農業科座談会 明日の農業経営者をつくるために
井上信・林文夫・石川寿雄 (20)
育てる・最大公約数を求めてさまよい教科書編修者
(18)
そろばんは就職のためだけのものではない

SO生 (26)
教科書談義 水谷三郎 (24)
教科書評

上原専禄監修 高校世界史 四竜経夫 (28)
深見義一著 補完読本『商事』 松本正信 (32)

第8巻第7号：1956年7月1日
(広島大学附属図書館・中央)

歴史教育の発見 菱刈隆英 (6)
終戦直後の宗教教育の想い出 筑波稔 (8)
座談会 定時制教育の世紀
小宮山寛美・遠藤克巳・原富郎 (2)
鶏肋言 オートメーション雑感 山紫楼 (5)
かれらと共に 川畑安雄 (10)
H子の場合 福井照重 (11)
ラビヨリ 宮崎利秀 (12)
阿波の水豆腐考 倉橋実 (14)
高校生を読む小説 中村敏夫 (15)
文化祭のチャンバラ劇 青木要 (16)
簿記狂歌 食散人戯作 (24)
教科書談義 水谷三郎 (22)
高校評判記 埼玉県立鴻巣高校 内田輝三郎 (27)
実践報告
地域社会への奉仕 国森冲治 (18)
学力向上をはばむもの 芝田隆雄 (20)
教授参考資料 砂糖の生産と貿易 (28)
教育ニュース (32)
編修後記 (32)

第8巻第8号：1956年8月1日
(広島大学附属図書館・中央)

ローマ瞥見 福原満洲雄 (6)
社会科社会当面の問題 間瀬正次 (2)
鶏肋言・天国と地獄 山紫楼 (5)
たのしきかな教員 安藤常次郎 (8)
通勤者は分子運動のように 小島道衛 (9)
米国の社会科教育 山口光朔 (11)
未完成の散髪 小島勲 (13)
統計相談所 高橋保 (15)
高校の男女学生の学力差について 鈴木菊雄 (19)
高校評判記 豊多摩高校 (18)
経済斜角 須藤万治 (16)

教科書談義 水谷三郎 (20)
教授参考資料 綿花および綿布／化繊および合成繊維
(22)

書評 (31)

今野武雄著 現代人の数学
ドラッカー著 オートメーションと新しい

世界
教育ニュース (32)
編修後記 (32)

第8巻第9号：1956年9月1日
(広島大学附属図書館・中央)

共学を育てよう 鈴木富美 (6)
普通高校教育への注文 岸田林太郎 (2)
世界史の教科書 上滝元 (5)
花いっぱい学校に 桑原三郎 (8)
粗野をにくまず 渡辺照造 (8)
試験監督 奥山隆夫 (10)
私も万能選手 藤塚知成 (11)
犬に好かれる 山田千之 (13)
動詞の「自」「他」の研究 森嵩正 (14)
教科書談義 水谷三郎 (16)
教育ニュース「高校教諭資格認定大学院」ほか (32)
教授資料

日本史 日本史とところどころ 西岡虎之助 (18)
化学 食塩の構造結晶について 白井俊明 (20)
生物 反射に関する新研究 井上清恒 (22)
商業一般 本船渡条件と運賃保険料込料金
久保村隆祐 (26)
商品／人文地理 最近の世界羊毛事情 編修部 (30)
編修後記 (32)

第8巻第10号：1956年10月1日
(広島大学附属図書館・中央)

実践報告 高等学校における税務会計の指導要点
松尾重喜 (10)

高校家庭科教育の雑学よりの解放
岩手の一高校家庭科教師 (9)

鶏肋言 週間ジャーナリズム 山紫楼 (5)
転機はいつ来るか
— 原水爆実験とアジア・アラブの力 —

入江啓四郎 (2)
原子炉随想 菅義夫 (6)
—・コント・— 実践室にて 永井雄風 (12)
数学教育の要点の再検討 荘司寛 (14)
教授資料

生物 細胞分裂について 井上清恒 (20)
商業一般 運送 久保村隆祐 (24)
家庭 だいず油の安定性についての実験／

献立・調理実習一覧表(案)／全都		化学 錯塩と複塩	井上敏 (22)
市消費者物価指数	(28)	生物 継ぎめの生理学	井上清恒 (24)
高校評判記 富山県立婦負(ねい)農業高校		商業一般 保管	久保村隆祐 (28)
	岩谷生 (18)	教育ニュース	(32)
論理的な思考力の養成	高橋弘 (8)	編修後記	(32)
教科書談義	水谷三郎 (16)		
教育ニュース	(32)	第8巻第12号：1956年12月1日	
編修後記	(32)	(広島大学附属図書館・中央)	
第8巻第11号：1956年11月1日		高校人文地理と地誌学習	風巻義孝 (4)
(広島大学附属図書館・中央)		家庭科論争	
高校社会科の履修状況	正井寛三 (14)	家庭科はいかにあるべきか	TOMOTAKE (15)
国語教育の問題点 就職試験問題を中心として		科学的な家庭科を待望	
	佐藤威夫 (2)	長野県一高校家庭科教師	(17)
国際遺伝学会議の成果の一つについて		なぜ家庭科に魅力がないか	茂木保定 (18)
	柘植秀臣 (4)	実業高校における社会科教育	安原吉四郎 (2)
抜き難きエリート意識	清水四郎 (7)	鶏肋言 交通の社会化	山紫楼 (11)
維新史の一齣	印田義保 (8)	定時制から全日制へ	笠松芙蓉 (6)
業っ業服のアルバムを開んで	及川量進 (9)	雅号とペンネーム	渡辺三男 (7)
成長を見守る	品川誠 (10)	十代は現代に何を期待するか	渋谷計三 (9)
隠れた善行者	前川和範 (11)	原子兵器と日本の立場	前芝確三 (12)
秋ぞいそがし	阿部祖海 (12)	教科書談義	水谷三郎 (20)
セダン・天ぶら——英会話雑話——	河井達雄 (12)	アメリカの思想家	レオ・ヒューバーマン
実業高校と普通高校	伴一幸 (6)		西田勲 (22)
教科書談義	水谷三郎 (18)	教授資料	
教科書評 福原満洲雄編 数学の教室 数学Ⅰ 代数		生物 血液凝固の近代理論	井上清恒 (24)
	門叶みちお (21)	商業一般 新種保険	久保村隆祐 (28)
書評 渡辺公平著 修学旅行	(20)	教育ニュース	(32)
教授資料		編集後記	(32)

(まるやま つよし 本学非常勤講師)

(おだか すすむ 本学准教授)